

## 「カムイヤキの活用について」

### 1 学校名

伊仙町立伊仙小学校

### 2 学年・人数

第6学年 (計28名)

### 3 日時・場所

#### (1) 学習会等の日時・場所

平成30年9月～10月

学習会：総合的な学習の時間

平成30年10月2日(火)

伊仙町歴史民俗資料館見学

平成30年10月

発表資料作成

#### (2) 発表の日時・場所

平成30年10月28日(日)

学習発表会：伊仙町立伊仙小学校体育館

平成30年12月16日(日)

カムイヤキシンポジウム「きて、みて、まなぶ 徳之島のカムイヤキ」内で壁新聞を掲示：ほーらい館

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### (1) 名称・時代

カムイヤキ：平安時代～室町時代

#### (2) 特徴

徳之島伊仙町で11世紀から14世紀にかけて作られていた陶器(壺や瓶)である。材質は硬く、表面は青灰色、陶土は赤褐色である。器種は壺を中心として瓶、鉢、碗が見られ、ヘラ描波状文が施されているのが特徴である。

### 5 保存会や地域との連携の具体

本校の総合的な学習の時間の中に、徳之島や伊仙町の歴史について調べる「タイムスリップ伊仙町」という単元が設定されている。伊仙町の歴史を調べる中で、歴史民俗資料館を見学し、カムイヤキを実際に見たり触ったりして学習を深めた。その際、歴史民俗資料館の方に説明をしていただいたり、復元体験をさせていただいたりして連携を深めた。その後、学んだことを壁新聞にまとめる際は、資料を提供してもらったり掲載する写真を提供してもらったりした。さらに、本町で12月に行われたカムイヤキシンポジウム「きて、みて、まなぶ 徳之島のカムイヤキ」内で、壁新聞を掲示してもらった。

### 6 活用の取組の工夫した点

歴史民俗資料館で学んだカムイヤキの内容を壁新聞にまとめた。その際、低学年でも分かりやすいように自分たちなりの言葉でまとめるように、実際にカムイヤキに触れたり復元作業に参加させてもらったりしながら体験をさせてもらうようにした。さらに、カムイヤキがどんなものか分かりやすいようにまとめるために、歴史民俗資料館から写真を提供してもらった。

## 7 取組の様子



【歴史民俗資料館を見学している様子】



【学習発表会で劇にして発表している様子】



【提供してもらったカムイヤキの写真】

## 8 参加児童・保護者・教員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 自分の町に自慢できる文化財があって嬉しいです。
- ・ 今回調べたことで、伊仙の歴史がよく分かりました。このことを他の町の人たちにも広めていきたい。
- ・ 劇にして発表するのは大変だったけど、みんなが良かったよと言ってくれて嬉しかった。

### 【保護者】

- ・ 子どもの発表を聞いて、自分も初めて知ることがあって良かった。
- ・ 劇での発表が分かりやすくて良かった。改めて自分の町のことを知ることができた。

### 【教職員】

- ・ 子どもと共に伊仙の歴史を学ぶことができ、自分自身勉強になった。地域の誇りとして子どもたちにしっかり理解させていきたい。また、歴史民俗資料館には多くの協力をいただきありがたかった。今後も連携を深めていきたい。